

「東アジア若手研究者合同研究フォーラム」(東亞青年研究者共同研究論壇)

依存と融合：日本研究の新たな展望(依存與融合：日本研究新願景)

2020年11月21日 フォーラムのスケジュール

時間(日本と韓国+1時間)	内 容		場所
午前 8:30-12:30	8:30-8:55	参加者のチェックイン	
	9:00-9:30	開幕式 司会者：石原忠浩 1・挨拶一：政治大学学術副学長 2・挨拶二：日本台湾交流協会広報文化部長 3・挨拶三：政治大学国際事務学部長 4・挨拶四：政治大学国際関係センター主任	270201
	9:30-9:45	集合写真	
	9:50-10:30 (発表20分/ 1人)	テーマ発表 座長：林立萍	270201
		1 小野正樹(筑波大学)： 多様なコミュニケーションに対する日本語の必要性 9:50-10:10	
		2 丁紅衛(北京外国語大学)： 日本的環保産業 10:10-10:30	
	10:30-10:45	休憩時間	
	10:45-11:25 (発表20分/ 1人)	テーマ発表 座長：何思慎	270201
		1 徐承元(高麗大学)： 韓国文在寅政府の新南方政策と日本安倍内閣の自由で開かれたインド・太平洋(FOIP)構想の比較から得られるもの 10:45-11:05	
		2 于乃明(政治大学)： 阿里山中植民地時代の記念碑は、いま私達に何を語りかけているのか。 11:05-11:25	
	11:30-12:30	昼ご飯	

午後 12:30-16:50	12:30-13:40 各会場の発表 時間+調整時 間 (発表 15分 /1人)	会場一：日本語学と文学 (一) 座長：鄭家瑜		270201
		1	飯田朋子(筑波大学)： 「日本語母語話者が技能実習生に対して行う日本語の配慮とその効果 – コミュニケーションにおける成果と課題に注目して –」 12:30-12:45	
		2	朱桂榮(北京外国語大学)： 基礎教育階段外語教材的研究與開發 12:49-13:04	
		3	徐梅婷(北京外国語大学)： 日本における『紅樓夢』の受容——江戸期における四大奇書の受容と対比しながら 13:07-13:22	
		4	鄭家瑜(政治大学)： 「皇極紀」と「斉明紀」における記述方法の比較分析 13:25-13:40	
	13:40-13:50	休憩時間		
	13:50-15:00 各会場の発表 時間+調整時 間 (発表 15分 /1人)	会場一：日本語学と文学 (二) 座長：蘇文郎		270201
		1	文昶允(筑波大学)： 短縮語形成における特殊モーラの振る舞い 13:50-14:05	
		2	徐ユリ(高麗大学)： 社会人日本語学習者の学習継続要因に関する一考察 14:09-14:24	
		3	陳祥(筑波大学)： 「現代日本語における語基「白」を含む色彩語彙語の意味拡張 – 中国語との比較 –」 14:27-14:42	
4		葉秉杰(政治大学)： 文化の語形成に対する働き-[X]動詞連用形複合語を例に 14:45-15:00		

午後 12:30-16:50	12:30-13:40 各会場の発表 時間+調整時 間 (発表 15 分 /1 人)	会場二：日本の歴史と社会 (一) 座長：劉長輝		270202	
	1	明石純一(筑波大学)： 現代日本の移民政策：2018 年入管法改正 の功罪	12:30-12:45		
	2	李承煥(高麗大学)： 日清戦争(中日甲午戦争)時期中国と日本 の韓半島認識比較研究-李鴻章と山県有 朋の地政学的認識を中心に-	12:49-13:04		
	3	羅仕昌(政治大学)： 史料から見る日本の留学生政策—戦間 期日中両国の新聞を対象に—	13:07-13:22		
	4	金該林(高麗大学)： 多和田葉子の『かかとを失くして』に表 れる異邦人への差別的視線について	13:25-13:40		
	13:40-13:50	休憩時間			
	13:50-15:00 各会場の発表 時間+調整時 間 (発表 15 分 /1 人)	会場二：日本の歴史と社会 (二) 座長：林珠雪			270202
	1	金麗眞(高麗大学)： 植民地抵抗文学としての中西伊之助『汝 等の背後より』の分析	13:50-14:05		
	2	韓采旻(高麗大学)： 『平家物語』に表れた神社勢力に対する 一考察-平家と巖島神社の連動を中心に-	14:09-14:24		
	3	徐田奇(北京外国語大学)： 日本の現代社会における性意識の変遷 について	14:27-14:42		
4		14:45-15:00			

午後 12:30-16:50	12:30-13:40 各会場の発表 時間+調整時 間 (発表 15 分 /1 人)	会場三：日本の政治と経済 (一) 座長：林賢参		270205
		1	石原忠浩(政治大学)： 第二次安倍政権下の日台関係：継続、突 破、停滞 12:30-12:45	
		2	許元寧(高麗大学)： 冷戦以降における日本の東南アジア戦 略 12:49-13:04	
		3	清水裕美子(政治大学)： 日本の文化外交と日本語学習者、観光客 への影響 13:07-13:22	
		4	劉陳樟(北京外国語大学)： 植木枝盛の天皇観に関する一考察 13:25-13:40	
	13:40-13:50	休憩時間		
	13:50-15:00 各会場の発表 時間+調整時 間 (発表 15 分 /1 人)	会場三：日本の政治と経済 (二) 座長：黎立仁		270205
		1	王紹旬(政治大学)： 日本の民泊新法が国際観光推進戦略に 与える影響について 13:50-14:05	
		2	蔡捷(高麗大学)： 脱冷戦期韓国と日本の海洋安保戦略に 関する研究——韓日両国の海軍力を中 心に 14:09-14:24	
		3	任加勉(北京外国語大学)： 中日国際結婚二世のアイデンティティ 形成研究 14:27-14:42	
		4	申育誠(政治大学)： 日本公的年金制度における健康保険の 財政改革 14:45-15:00	
	15:00-15:15	休憩時間		

	15:15-16:42 パネルディス カッション (総合座談) (発言時間： 8分/人)	テーマ： 東アジア地域における日本研究の交流と 東南アジアとの共同研究の可能性 座長： 徐興慶、于乃明 パネリスト (與談人)：	270201
	1	鄭炳浩(高麗大学) 15:15-15:30	
	2	徐興慶 (中国文化大学) 15:30-15:38	
	3	平石典子(筑波大学) 15:38-15:46	
	4	朱桂榮(北京外国語大学) 15:46-15:54	
	5	何思慎(輔仁大学) 15:54-16:02	
	6	林賢參(台湾師範大学) 16:02-16:10	
	7	林立萍(台湾大学) 16:10-16:18	
	8	劉長輝(淡江大学) 16:18-16:26	
	9	林珠雪(東海大学) 16:26-16:34	
	10	黎立仁(台中科技大学) 16:34-16:42	
	16:45~16:50	閉幕 挨拶：大会秘書長于乃明教授	270201
夕刻	17:30~	晚餐会	金色漁家

フォーラムの発表者リストと発表テーマ

政治大学			
番号	氏名	職階	発表テーマ
1	于乃明	教授	阿里山中植民地時代の記念碑は、いま私達に何を語りかけているのか
2	鄭家瑜	准教授	「皇極紀」と「斉明紀」における記述方法の比較分析
3	石原忠浩	助教授	第二次安倍政権下の日台関係：継続、突破、停滞
4	葉秉杰	助教授	文化の語形成に対する働き-[X]動詞連用形]複合語を例に
5	羅仕昌	院生（博士）	史料から見る日本の留学生政策—戦間期日中両国の新聞を対象に—
6	申育誠	院生（博士）	日本公的年金制度の財政改革
7	清水裕美子	院生（博士）	日本の文化外交と日本語学習者、観光客への影響
8	王紹旬	院生（博士）	日本の民泊新法が国際観光推進戦略に与える影響について
北京外国語大学			
番号	氏名	職階	発表テーマ
1	丁紅衛	准教授	日本的環保産業
2	朱桂榮	准教授	基礎教育階段外語教材的研究與開發
3	劉陳檸	院生(修士)	植木枝盛の天皇観に関する一考察
4	任加勉	院生(修士)	中日国際結婚二世のアイデンティティ形成研究
5	徐梅婷	院生(修士)	日本における『紅樓夢』の受容——江戸期における四大奇書の受容と対比しながら
6	徐田奇	院生(博士)	日本の現代社会における性意識の変遷について
高麗大学			
番号	氏名	職階	発表テーマ
1	徐承元	教授	韓国文在寅政府の新南方政策と日本安倍内閣の自由で開かれたインド・太平洋（FOIP）構想の比較から得られるもの
2	鄭炳浩	教授	東アジア地域における日本研究の交流と東南アジアとの共同研究の可能性
3	許元寧 (Wonyoung HUR)	院生	冷戦以降における日本の東南アジア戦略
4	蔡捷 (CAI JIE)	院生	脱冷戦期韓国と日本の海洋安保戦略に関する研究-韓日両国の海軍力を中心に
5	金該林	院生	多和田葉子の『かかとを失くして』に表れる異邦人への差別的視線について
6	徐ユリ (Seo Yuri)	院生	社会人日本語学習者の学習継続要因に関する一考察-学習経験を中心に-
7	韓采旻 (Han Chae Min)	院生	『平家物語』に表れた神社勢力に対する一考察-平家と厳島神社の連動を中心に-
8	金麗眞 (Yeojin Kim)	院生	植民地抵抗文学としての中西伊之助『汝等の背後より』の分析

9	李承煥	院生	日清戦争(中日甲午戦争)時期中国と日本の韓半島認識比較研究-李鴻章と山県有朋の地政学的認識を中心に-
筑波大学			
番号	氏名	職階	発表テーマ
1	小野正樹 (ONO Masaki)	教授	多様なコミュニケーションに対する日本語の必要性
2	文昶允 (MOON Changyun)	助教	短縮語形成における特殊モーラの振る舞い
3	明石純一 (AKASHI JUNICHI)	准教授	現代日本の移民政策：2018年入管法改正の功罪
4	陳祥	院生(博士)	「現代日本語における語基「白」を含む色彩語量語の意味拡張－中国語との比較－」
5	飯田朋子	院生(博士)	「日本語母語話者が技能実習生に対して行う日本語の配慮とその効果－コミュニケーションにおける成果と課題に注目して－」